

# 支部だより

第51号

4 月に入り、開花の遅かった桜の花も散りかけております。

東日本大震災から、早や 1 年あまりが過ぎましたが、犠牲で亡くなった方及び、不明者合わせて 19,000 名あまりの方々が居られる現実を思うと、只々ご冥福を祈るばかりです。未曾有の災害の甚大さに、改めて自然災害の恐ろしさを思い知らされます。又、4 月 1 日、内閣府の発表した想定では、-----東海・東南海・南海地震が起きた場合の震度と津波の推定値を公表しました-----播磨地方で震度 6 強、津波の推定は 2.8m。関東～四国の太平洋側には震度 7、満潮時に重なると津波が 20m を超えると載っておりました。耐震、免震など、防災、減災計画はもちろんでありますが、東日本大震災で大きな教訓となった「逃げる」という選択肢も重要であり、日ごろから避難する場所を想定し、備えておく必要があると言われております。さて、建築士会も公益法人に向って準備が進んでいますが、この現状の中、会員相互の親睦を図り社会に貢献できる組織として、一般の方々にも広く認識してもらえる様な会でありたいものです。

今年は移動総会の年でもあり、総会に一人でも多くの出席をお願い致します。(副支部長 矢幡 稔)

## 「平成 24 年度 第 49 回加古川支部移動総会」のお知らせ

今年は「古事記」が編纂されてから 1300 年。神話の国の出雲大社では来年 60 年に一度の遷宮を迎え、現在本殿の大屋根修造が進められています。支部では、歴史と自然にあふれた出雲地方への見学を兼ねた移動総会を下記のとおり開催いたします。

見学地は石見銀山（世界遺産登録）や銀山の積出港である温泉津（ゆのつ）温泉（重要伝統的建造物群保存地区指定）などの見学です。会員の皆様には、ご多忙のこととは存じますが、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

※ 出欠のお返事は、同封のハガキで平成 24 年 4 月 25 日(水)までにご連絡ください。

※ 現地での連絡のため、お申込みのときに携帯電話の番号をお知らせください。

※ 坑道(間歩)中の見学が含まれていますので、歩きやすい服装・足元でご参加ください。

1. 日 時：5 月 12 日（土）～13 日（日）
2. 集合時間：AM7:50（8:00 出発）
3. 集合場所：JR 加古川駅 北側ロータリー
4. 参加費：20,000 円（当日集金）

ただし、13 日（日）の昼食は自由昼食のため含まず。

### 5. 行 程

#### ★ 5 月 12 日（土）

加古川（8:00 出発）⇒（姫路BP・中国道・米子道・山陰道）⇒島根県立美術館（11:50～12:20）⇒ 昼食（12:30～13:10）⇒ 出雲ドーム（13:50～14:00）⇒ 島根県立古代出雲歴史博物館（14:20～15:20）⇒ 温泉津温泉・旅館ますや（17:00 頃）到着後総会(車中にて議案説明)

#### ★ 5 月 13 日（日）

温泉津温泉（8:00 出発）⇒ 銀山公園・龍源寺間歩・武家屋敷旧河島家・熊谷家住宅・代官所跡石見銀山資料館（8:35～11:40）⇒自由昼食（11:45～12:20）⇒仁摩サンドミュージアム（12:40～13:30）⇒（山陰道・米子道・中国道・姫路BP）⇒ 加古川（18:30 頃帰着）

間歩(まぶ)・・・石見銀山では明治以前は坑道(こうどう)のことを間歩(まぶ)と呼んでいました。明治以後は現在でつかわれている坑道と呼ばれるようになり、明治を境に呼び名が変わりました。



## 新春ボーリング大会の報告

毎年恒例の『新年会&新春ボーリング大会』が1月21日(土)ニッケパークボウルで豪華優勝賞品をかけて、総勢14名による熱戦が夕刻5:30にスタートされました。熱戦の末、私が何年かぶりに優勝し、あ



りがたい副賞(この原稿書き)をゲットさせていただきました。ありきたりではございますが、天候とメンバーに恵まれてこの栄えある賞をもらえたのではと思います。メンバーに去年の覇者、永井支部長がおられてそれが大きな要因であったのではと思います。

去年入会してくださった、紅一点齋藤さんも参加していただいて、楽しい時間をすごすことが出来たと思います。最後になりましたが、今年もよろしくお祈いします。(長尾 淳一)



## 新年会の報告



今回、私にとっては初めての参加になりました。

新年会はボーリング大会の後、徒歩で「ながさわ加古川店」まで移動し、またボーリングに参加できなかった方も含め20名でおこなわれました。普段お会いする機会が少ない市役所等行政の方や、設計事務所、建設会社等々幅広い業種、また幅広い世代の方と気さくにお話することが出来、非常に楽しく有意義な時間を過ごさせていただきました。今後もこのような機会には積極的に参加していきたいと思ひます。

ところでボーリング大会ですが、ボーリングが苦手な私にとっては、一投一投が本当に緊張した瞬間でした。案の定、私の結果は見るも無残なものでしたが、2ゲームを無事終了できたので非常に達成感を感じました。みなさんはプロのボーラーさながらに次々とスパア、ストライクを決めていって、みるみるスコアが増えていく様子は圧巻でした。(齋藤 里奈)

## 青年部情報 (青年部会)



### “防災勉強会”



3月17日(土)、「かこがわ のぞみ保育園」(加古川町中津)にて開催いたしました。

当日、雨が心配されましたが(若干名が雨男!誰や!)なんと奇跡的に雨が上がり無事開催の運びとなりました。参加者は園児、保護者等合わせて約100人にもなり、急きょ二班に分けての開催となりました。やはり一番人気!?は起震車です。最初は恐る恐る乗っていた子供達・・・、中には泣き出すお子様も・・・、しかし終わりに近づくとつれ遊園地のアトラクション状態になりました。

また別会場で、E-ディフェンス兵庫実験研究会所属---支部士会員の宮宅さんと城戸さんお二人に、ビデオを使用しながら減災のノウハウをわかりやすく説明していただきました。

参加された皆様からは「非常にいいお話が聞けました。少しでもいいから出来ることから対策をしていきます。」と前向きなお言葉を沢山いただきました。何はともあれ、無事開催できてホッと一息ついております。有り難うございました。(青年部会長 松本 有司)





## “葦刈～壁下地～土着け”



前回棟上げの報告をさせていただいた寺田池プレーパークの倉庫ですが、4/1(日)待望?の土着けを行いました。この日を迎えるまで、実は色々ありました。壁下地の葦ですが、毎年加古川河口の葦を刈るのでそれを利用する予定でしたが、秋の台風の影響で狩り場の葦がほぼ全滅状態。今回、島崎副部長があちこちの葦が群生している場所を見つけては、その地域の管理者と折衝してくれたものの不調に終わる事が続きました。「どないしたもんかのお～」と頭を悩ます日々が続いた。で…結局は寺田池の葦を刈ることになった。  
灯台もと暗しとはこう云うことを指すんでしょな。

葦刈当日(1/29)は、支部会員&県青年委員長親子&冒険団そして二級製図講習 OB や Facebook で我々の活動を知った方等、約 20 名の参加により実施しました。やはり大勢で作業すると早い早い。毎年の葦刈作業なので手慣れたものです。お昼は寒空の下皆でお弁当を戴きました。雑談に花が咲き、皆が仲間になっていくのを感じます。そしてあっと云う間に作業再開。頑張っってなんとか暗くなる前に作業を終えることができました。

壁下地施工 2/5 のプレーパーク開催に併せて壁下地施工を行いました。刈って束にした葦を丁度よい太さに束ね直す事から始めます。この工程にはプレパに遊びに来たチビッコ達や、その保護者さん、そして町内会の方々も一緒になって楽しんで作業していただきました。束ね直した葦を倉庫駆体に定着させるのに苦労しましたがなんとか形になりました。途中、ぜんざいも振る舞われ楽しい一日となりました。

そして 3/4 ! 待望の土着け! 天気は……雨(ToT)誰やねん! 雨男は! 仕方なく延期 4 月に期待!

そして 4/1 天気は晴れ! 主役はプレパ参加のチビッコ達! 最初は見よう見まねで鏝板と鏝で作業していたけど、最後は“手”。団子を作り壁にすり付けてゆく。チビッコ達は云うに及ばず、お母さん達もペタペタし始める。

見知らぬ者同士がワイワイ言いながら土着け(泥遊び)をし、しだいに友達になってゆく。ここは大人も子供も対等な場所。我々も負けじとペタペタしてゆく。

ああでもない、こうでもない、たまに下ネタを爆発させ、キツイ冗談も云い合いながらも、目は真剣そのもの!

通りかがりの人たちも目を細める…「やっと土着けやなあ…昔はなあ土着けてなあ…こないしよってん。懐かしいわあ…出来上がりがたのしみやわあ」この倉庫作りは、知らぬ間に地域の人達の注目を集めていたらしい。

この事業(プレーパーク・倉庫建設)を縁に大勢の人達の輪が広がっていくのを感じます。街興しのヒントは案外身近にあるのかもしれませんが。だけど…堅い話は抜きにして…我々は明るい話題を提供し続けたいと思います。(青年部会長 松本 有司)



## 高砂市よりお知らせ

高砂市開発指導要綱、中高層建築物の建築に関する指導要綱が改正され、平成 24 年 4 月 1 日より施工されています。詳細は、高砂市まちづくり推進課 TEL 079-443-9033 までお問い合わせ下さい。



## 建築士試験“監理員”募集

二級・木造建築士試験及び一級建築士試験の立会いは建築士会員がおこなっています。加古川支部にも毎年、数名の要請があるため、事前に参加希望者を把握したいと思います。参加希望の方は連絡下さい。  
※ 連絡・申込書をご利用下さい。(先着順となります。締め切りは 5 月末)

この季節、どこの職場においても一様に見られる風景ではありますが、新社会人の初々しさが目にとまり、清々しい気分になります。私の職場（東播工業高校）にも新社会人が数名います。その中の青年の一人は同じ建築科の職員です。しかし、実は私は彼とは旧知の仲でした。と言うのも彼は卒業生で、東播工業高校を卒業後、大学へ進学し、この度就職という形で母校に帰ってきたというわけです。彼のことは担任ではなかったのですが、高校入学の時から知っており、このように教え子と机を並べて仕事ができるというのは、この仕事ならではの幸せであると大変楽しみにしています。

できれば彼が近いうちに建築士の資格を取り、同じく建築士会の一員としても活動できれば、と思っています。

（西本 和樹）

## 広報委員会よりお知らせ

### ※ 募集中、皆様の情報 ※

『耳より情報』として載せたい案内などがあれば、広報委員会までどしどしお寄せ下さい。

## 耳より情報

### 東播磨出会いサポートセンターってご存知ですか？

～結婚したい！結婚相手を見つけたい！そんな方にお勧めします！～

兵庫県が約1年前から県下10か所で開いているその1か所、東播磨出会いサポートセンターは、明石駅から南西に徒歩約5分。明石健康福祉事務所（明石保健所）の1階にあります。

東播磨出会いサポートセンターだけで、独身男女（20～40歳代が中心）約540人が登録。県の少子化対策の一環としての事業なので登録料（年会費）は3千円のみ。婚活パーティーも希望される方は、「ひょうご出会いサポートセンター会員」に登録してください。メールで情報がバンバン流れてきます。廻りに該当する方がいらっしゃいましたら是非ご紹介ください。

住所 明石市本町 2-3-30

電話 078-920-9337

受付 火～土（9:00～17:15）

### 縁結び交流会（婚活パーティー）をやっています。

こころ豊かな500人委員東播磨OB会では、年に2回、縁結び交流会（婚活パーティー）を大中遺跡のある兵庫県立考古博物館で行っています。毎回約30組の参加で、6組、9組、9組、15組とマッチングしてきており、良いお付き合いをしておられる方が出てきています。

今年も5月27日に行います。会費は3000円（入館料・昼食含む）対象は独身で、男性45歳まで女性40歳まで、今回は各24名（兵庫県内）募集しています。

お近くに該当者がいらっしゃいましたら是非ご紹介ください。もちろん、ご本人もOK!です。

お節介おじさん、おばさんが手ぐすね引いて待っています。

問合せ先 東播磨出会いサポートセンター 078-920-9337

高橋賢吉（士会会員）

090-4904-4812

この連絡・参加申込書はFAXか郵便で送付してください。(Eメールも可)

## 連絡票

<p>住 所 連 絡 先 E - mail</p>	<p>※ 住所・連絡先等の変更があるときは必ずお知らせ下さい。</p>
<p>事務局への 連絡事項</p>	<p>試験“監理員”参加希望の方は、</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ に○印をお願いします。</li><li>・ あり</li></ul>

\* 連絡網には住所は掲載致しません。

(社)兵庫県建築士会加古川支部事務局  
〒675-0017 加古川市野口町良野 418-17  
間嶋建築設計事務所内  
email:eiz-nagai@nifty.com  
090-5240-6230(永井)  
TEL 079-422-4130 FAX 079-423-4130

# 支部だより

第52号

梅雨のうっとうしい日々、いかがお過ごしでしょうか。7月2日より関西電力管内では、計画停電要請が開始になり、いよいよ「節電の夏」スタートといったところです。先日我が家にも職場にも、計画停電スケジュールのお知らせというはがきが届きあらためて厳しい需給状況を感じております。

ところで、支部事業としての5月12、13日の島根方面への平成24年度移動総会も、成功裏に終える事が出来ました。参加され、又ご協力いただいた会員の皆様ありがとうございました。又、当支部では、公益法人化への準備、来る設立50周年記念事業等、大きな課題を抱えております。会員の皆様の更なるご協力お願い致します。  
(副支部長 鬼一 恭士)

## 平成24年度支部総会（移動総会）の報告

今年度は島根地方に見学会と研修を兼ねた総会となり、第1日目の5月12日(土)、バスの車中で、報告事項と審議事項などの提案を先に進め、決議事項と質疑応答を宿泊場所である温泉津温泉「旅館ますや」で行いました。参加会員23名で、また委任状も50名より提出して頂きました。司会者の挨拶の後、永井支部長より挨拶があり、議長を古田氏に選任し、総会の議事が始まりました。



### 議題

- ①平成23年度会員動静及び事業報告(矢幡副支部長)
- ②平成23年度収支決算報告(増田会計)
- ③会計監査報告(成田氏)
- ④平成24年度事業計画案(永井支部長)
- ⑤平成24年度収支予算案(永井支部長)

1日目の見学なども終わり、宿泊先で物故者に対する黙祷と決議事項、質疑応答を行い、すべての議案について承認され、無事総会が終わりました。

(三上 武範)

## 総会旅行の報告

晴天に恵まれ、とても気持ちのいい支部移動総会となりました。見学地の各々の建築物(県立美術館、出雲ドーム、出雲大社など)も、現地に行けば感動や発見がありましたが、メインはやはり石見銀山。世界遺産です。6キロほどの見学コースをガイドさんに解説いただきながらの見学でした。こういった見学は、ガイドさんがいるといないとでは大違いですね。解説がなければ「ふ～ん、ここが間歩ね」といいながら通り過ぎるだけですが、丁寧な説明のおかげで江戸時代の石見銀山の様子が具体的にイメージできました。とはいいいながら電気のなかった時代に、ほんとに真っ暗な穴の中でサザエの殻に油を入れた炎の明かりだけで作業をし、銀鉱脈を見つけるなんて、想像を超えたすごい世界ですね。ガイドさんの話では豊かな共同体の暮らしぶりもあったようです。今後も研修の際にはできる限りガイドさんをお願いすると思いいなと思いました。



石見銀山は、精錬に必要な膨大な木材燃料の供給を、森林資源の適切な管理の下に行ったことが、世界の鉱山の中でもきわめて稀で貴重だということが世界遺産の登録に際し評価されています。

しかし現在では、竹がどんどん生えてきていて整備が大変なようでした。ここにも同じ課題があるのだなと整備の必要性を実感し、場所は違えど青年部会の里山活動も頑張っていかなばと再確認しました。総会議案も無事承認され、今年度のスタートとなりました。青年部会も一年間頑張っていこうと思います。

(島崎 淳二)



## 納涼“ビアガーデン”懇親会

支部会員の交流と親睦を深めるため下記の要領で納涼懇親会を開催いたします。  
皆様におかれましてはお忙しい事と存じますが、会員が寄り合い「わいわい」「がやがや」  
ジョッキ片手に暑さをぶっ飛ばしましょう。奮ってご参加くださいますようご案内します。

日時 平成 24 年 8 月 3 日 (金)  
午後 6 時 30 分よりご都合の良い時間になるべくお早めにお越しください。  
場所 「サンライズキリンビアガーデン」 サンライズ加古川ビル屋上  
加古川駅前「加古川市加古川町溝之口 507 Tel (079) 424-9542  
参加費 会員 ￥2,000 円  
非会員 実費  
募集締め切り 平成 24 年 7 月 27 日 (金)までに、

永井支部長アドレス→



支部長への直接メールもしくは  
別紙参加申込書により申込みをお願いいたします。

(雨天中止の場合は、個別に連絡しますので携帯等の緊急連絡先の記入をお願いします。)

当日の連絡先 厚生委員会 長尾携帯 090-9216-2695

## 〇 耳より情報 〇

ご存じですか? 『 **tsudo i** メール 』です。

本部のホームページに掲載される新着情報が、メールで各支部事務局まで配信されて来ます。  
加古川支部では、メールアドレスの登録をして頂ければそのまま会員へ転送しています。  
以下は近着の見出しです。

- No.296 (神戸市建築主事取扱要領 (第 2 版) に関する **説明会【ご案内】** )
- No.295 (スキルアップ研修シリーズ「環境・省エネルギー」 **申込期限 延長**)
- No.294 (『今被災地では **何が求められているか** ~復興支援のためになすべきこと~』シンポ)
- NO.293 (H24 年度上期 **専攻建築士受付 延長**)
- NO.292 (「 **建築士の日** 」のチラシ について)
- No.291 (「 **真壁木造講習会** テキスト」配布のご案内 について)
- No.290 (神戸市建築物等における **環境配慮の推進** に関する条例及び施行規則に関する説明会)
- No.289 (第 14 回 **構造セミナー** )
- No.288 (平成 24 年度地域型 **住宅ブランド化事業** の募集について)
- No.287 (太陽光発電と蓄電池 ( **スマートハウス** ) についての勉強会)
- No.286 (5 月~8 月「 **土質力学入門** シリーズ (全 5 回) のご案内」)  
本部ホームページは加古川支部ホームページのリンクからもアクセスできます。

加古川支部ホームページ →→→



## 青年部情報 (青年部会)

### ▶ 青年部セミナー “収納を考える” @「加古川のぞみ保育園」

建築士及び士会のPR活動として、今年度から新たにセミナーを始めました。昨年度、防災イベントをさせていただいた「加古川のぞみ保育園」で年五回の予定で開催します。今回は収納に特化した講座として、収納から見えてくる部屋の間取り、そして建物全体にまで考察が及ぶよう今後の展開に結び付けたいと計画しています。このセミナーは、単に収納方法を覚えるのではなく、“思考と空間の整理”というライフオーガナイズの考えのもと、収納から生活・居住空間を考察すると云うセミナーです。

第一回目は新入会員の岩谷さん(講師としても頑張ってくださいました)に報告させていただきます。  
(青年部会長 松本 有司)

### ▶ 青年部セミナー 第一回日の報告

セミナー第一回目「知っ得タイム…子育て上手は片付け上手」を5月24日(木)におこないました。当初何人の参加があるのか少し不安でしたが、「加古川のぞみ保育園」のチラシをご覧になられた保護者及び園外一般の方20名の参加がありました。今回は「自分を知る」と題し、色彩心理学を応用したクレパスを使って自己分析を行うという事をしました。生活の中では実にたくさんの事を思い込みでだけで行っていることがあります。違う角度から自分自身を見ると、全く新しいアイデアが閃いたりするものです。参加者の方々からは、「自分では想像もしていなかった結果が出た」「自分を見つめ直す機会となった」等の好評をいただきました。これからも、日々色々な事に感動し感謝して、成長してゆきたいと思いました。

(岩谷 弘子)



### “絵画” 作品募集

締切10月5日(金)

兵庫県建築士会創立60周年事業として企画されました『建築士による絵画小品展』に加古川支部からも何方か出展して頂きたいと思っております。参加費 ¥1,000.について支部で負担できるように検討しております。支部長までご一報ください。企画の詳細についてもお答えします。





## 新入会員の挨拶

☆ はじめまして、**岩谷 弘子**と申します。

私と建築士会(加古川支部青年部会)の皆様との出会いは、平成 21 年度の 2 級建築士設計製図講習会でした。その時の第一声は「こんな人達って実際にいるんだ」でした。深夜にも関わらず、続々と仕事帰りに立ち寄って下さる士会員(講師)の面々。当時は建築士会がどのような活動を行っているかなど一切知らずにおりましたが、長年お付き合いをしていく中で士会の皆様が建築を通じ地域や社会に貢献し、人に喜んでもらいたいという熱い思いを持って活動をされていることを肌で感じました。私も建築というハードなものを人様のハートに届けることができますよう、微力ながら皆様と活動を共にしていきたいと願っております。よろしくお願いいたします。

☆ はじめまして、**三原 延浩**と申します。

年齢は今年で 50 歳になります。3 年前に会社都合により、独立いたしました。仕事は住宅の施工監理が主で現在は、第三者検査会社に検査員登録をしてビルダーの現場検査や瑕疵保険の検査に廻っています。休みには、京都へ写経に出かけてお寺を散策するのが楽しみです。皆さんと徐々に交流を深め、自身のスキルアップに努めたいと考えています。よろしくお願いいたします。

☆ はじめまして、**太秦 篤史**と申します。

7 月という途中入会のような形になりましたが、建築士としてより良き知識を得るため、そして何より楽しい思い出を作れるように出来る限り士会の行事に参加していきたいと思っております。何かあれば是非、お声掛け下さい。これから宜しくお願いします。



今年度、高校 3 年生の担任を任せられ、いよいよ生徒達の卒業後の就職・進学先を決める進路の本番を迎えようとしています。人生でもとても大きな決断を迫られる時であるので、生徒に今まで以上の奮起をどう促すか思案しているときに国語の先生から河合隼雄という方の次のような言葉を紹介されました。

「君たちは今、百点満点を取らなければならない[時]を迎えています。こういう[時]は一生に何回かあります。その時、自分がどの道を選ぶかというのは大きいです。そこで、力を出し切らなかつたら残念です。人生はずっと八十点取ってたらよいと思うのは、大間違いでほしいは平均点すれすれでいいんです。でも時々百点満点取らなければならない時があるのです。百点満点以外はだめ、という[時]があります。必要な時に百点満点を取らなかつたがため、平均九十点の人生でも満足はいかない人もいます。」

この文章を読んだ時に、私自身にも心に響くものがありました。どう解釈するかは人によって自由です。ですが私自身も生徒と共に「百点満点を取らなければならない[時]を迎えている」気がしています。

(西本 和樹)

この連絡・参加申込書はEメールかFAXで送付してください。

## 参加申込書

記入欄が不足する場合は、複写してご使用下さい。

事業名	参加者 氏名 (連絡先電話)		何れか ○囲み
納涼“ピアガーデン” 懇親会	氏名	当日の緊急連絡先 Tel-	会員 非会員
			会員 非会員
			会員 非会員
	氏名	Tel-	会員 非会員
			会員 非会員
			会員 非会員

## 連絡票

住 所 連 絡 先 E - mail	※ 住所・連絡先等の変更は必ずお知らせ下さい。
事務局への 連絡事項	

\* 個人情報保護法に基づき、各会員の資料として管理致します。

(社) 兵庫県建築士会加古川支部事務局  
〒675-0017 加古川市野口町良野 418-17  
間嶋建築設計事務所内  
TEL 079-422-4130 FAX 079-423-4130

090-5240-6230 (永井携帯)  
eiz-nagai@nifty.com (永井メールアドレス) →→→



# 支部だより

第53号

あれだけ暑い暑いと言っていた夏も終わり、秋も順調に深まりつつある今日この頃。会員の皆様方いかがお過ごしですか？ 秋祭りも終わり、気が付けばもう年末がやって来ようとしています。何と月日の経つのが早いことでしょう。皆さんもそう感じておられることと思います。相変わらず低迷から脱出できない日本経済、そして我々の住む建設業界。一生懸命、全力で仕事に打ち込むしか脳のない私達には、時間がいくらあっても足りないようです。

ところで皆さん、ストレス解消法ってお持ちですか？ 何か良い方法があれば是非ご教授いただきたいのですが、私にとって今はジョギングでしょうか。ランニングの同好会に入っていて毎日曜、主に日岡山公園で練習会があります。多い時で 20 人近いメンバーが集結して、それぞれに練習メニューをこなしていますが、一人ではできないきつい練習メニューでもメンバーと一緒にだったら出来るのです。人からパワーをもらっている感じです。一人ぼっちじゃないということを実感できるのです。建築士会加古川支部もそんな住かではと思います。業務に忙殺され、自分を見失いそうになることしばしばでは？ そんな時、支部の理事会なり研修会なりイベントに参加すると同じ意識を持つ仲間と過ごせて何かホッとします。「まだ参加したことがない」という会員のかたも居られると思いますが、是非是非ご参加ください。必ず充実した時間を過ごせることと思います。本部の周年事業や支部研修会に忘年会、新年会等々楽しいイベントが盛りだくさんに企画されています。会員相互の親睦の場にどうぞお越してください。

(副支部長 秋田克司)



## 平成 24 年度 見学会開催のご案内 (研修委員会)

紅葉の季節を迎え、皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、研修委員会では、江戸時代に銅山とベンガラ製造で財を成した旦那衆が石州（島根県）から宮大工を招き、造らせた町並み（赤銅色の石州瓦とベンガラ色の外観で統一）を今に伝える岡山県成羽町吹屋地区（映画八墓村ロケ地）と城下町の面影を色濃く伝える高梁市紺屋川美観地区界隈を見学する「第 1 回見学会」を企画しました。

会員の皆様には、日頃の疲れを癒し、地元ボランティアガイドさんの説明を聞きながら歴史と文化に親しんでいただける見学会ですので、是非ご参加くださいますようお願いいたします。

1. 日 時 平成 24 年 11 月 18 日（日）7:15~18:20 雨天決行
2. 集合場所 JR加古川駅北広場バスロータリー（7:15）  
時間
3. 見学場所 成羽町吹屋地区  
（旧広兼邸、笹畝坑道、ベンガラ館、旧片山家住宅、郷土館）  
高梁市紺屋川美観地区界隈  
（武家屋敷館、池上邸商家資料館、紺屋川美観地区ほか）
4. 会 費 ① 会 員（他支部含む）：3,000 円  
（会員の家族 3,000 円---高校生以下 1,000 円）  
② 非会員：5,000 円  
※ 会費には、各施設入場料、交通費が含まれています。  
※ 昼食は自己負担となります。

5. 見学行程 07:15 加古川駅前北ロータリー集合  
07:20～10:40 バス移動（加古川バイパス・播但道・中国道）  
10:40～12:40 吹屋地区：地区見学（地元ボランティアガイドと共に）  
12:40～13:20 バス移動（昼食 車中弁当）  
13:20～15:20 高梁市紺屋川：地区見学（自由散策）  
15:20～18:20 バス移動（岡山道・山陽道・播但道・加古川バイパス）  
18:20 加古川駅前北着 解散

6. 申込み期限 準備の都合上、平成24年11月11日（日）までに  
方法

支部長へ直接もしくは、  
別紙参加申込書により申込みをお願いいたします。  
（緊急連絡用に携帯等、連絡先の記入をお願いします。）

永井支部長連絡先  
090-5240-6230

eiz-nagai@nifty.com

QRコード→



7. 募集定員 25名

申込みは原則先着順としますが、定員を超えた場合は非会員の方には、ご遠慮いただくことがありますので、あらかじめご了承をお願いいたします。

※ 当日緊急連絡先：小西 090-7889-2626 または、増田 090-1909-0071



## 納涼懇親会の報告

去る8月3日に開催されました納涼懇親会（参加17名）に1年ぶりに参加させていただきました。例年でしたら「納涼“ビアガーデン”懇親会」ですが、今年は諸般の事情により“ビアガーデン”ではなく、加古川ヤマトヤシキ七階のbuffetスタイルのレストランでの開催となりました。幹事の皆様方をはじめ、支部会員の皆様方のご尽力により無事開催されましたことに、感謝並びに御礼申し上げます。



“ビアガーデン”ということで毎年楽しみにしている私共としましては少々残念ではありましたが、例年のような屋外の“ビアガーデン”独特の雑然とした雰囲気ではなく、エアコンの効いた店内ということもあり、落ち着いた雰囲気、例年とはまた違った趣向の納涼懇親会となりました。“ビアガーデン”では味わえない豊富な料理とドリンク。皆様和気藹々と食べ放題、飲み放題。普段接することの無い会員の皆様方と腰を落ち着かせ、じっくり近況や情報交換することができました。制限時間の2時間があっという間でしたが、実に有意義な時間を過ごさせていただきました。



普段は何かと忙しく、支部の行事になかなか参加できない私共のような者にとっては、懇親会や新年会といった場でしか皆様方とお顔を合わせる機会が無く、大変心苦しく思っておりますが、いつも快く受け入れて下さる皆様方に、この場をお借りしまして、深く感謝申し上げます。ありがとうございます。気兼ねなく参加できる行事として、今後も参加していきたいと思っておりますので、支部会員の皆様方、どうぞよろしくお願い申し上げます。

（辰住 頼正）

## 青年部忘年会のご案内

会員のみなさまへ

平成 24 年 10 月 吉日  
社団法人 兵庫県建築士会加古川支部  
青年部会長 松本 有司

拝啓 向寒の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、この度恒例の青年部忘年会を下記のとおり開催いたします。何かとご多忙中とは思いますが、奮ってご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

敬具

### 記

日 時 : 平成 24 年 12 月 1 日(土) PM7:00~  
場 所 : 人数により変わりますので参加者に後日連絡させていただきます。

\*お酒を飲まれる方は、必ず電車・運転代行等をご利用下さい。

会 費 : 5,000 円

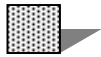
\*その他詳細については、後日参加者にご連絡致します。

尚、参加の方は準備の都合上、11/10(土)までに氏名、連絡先を下記へお願い致します。

返信先：株式会社 タケフジ 竹下 孝行  
FAX：079-421-4913  
e-mail：takefuji@tea.ocn.ne.jp

忘 年 会 出 席

氏 名 \_\_\_\_\_ 連絡先 TEL \_\_\_\_\_



## LED照明勉強会のお知らせ

研修委員会では、最近、性能が向上し省エネ、省資源などからその利活用が進められているLED照明器具の基礎知識や活用方法などについて、専門家を講師に招き、実務レベルでわかりやすく学べる勉強会を来年の2月中旬、開催に向け準備を進めています。

詳細については次回の支部だよりに掲載予定です。



先日、長女（4歳）の保育園の運動会に行ってきました。保育園の運動会には保護者競技というものがあり各クラスの保護者6人程度が代表でクラス対抗の競技をします。もちろん、クラス代表の保護者として競技に参加しました！

競技は障害物競走。張り切って参加したのですが、第一障害の「バットをおでこに付けて5回転」というところでグルグル目が回ってしまっただ転倒！左肘を擦りむく怪我までしてしまいました（笑）。

幸い怪我も大したことなく、競技が終わり、照れくさく保護者席に戻ったのですが、娘の表情を見てビックリ！悔しそう、悲しそう、表情をしています。娘にとっていつもカッコよかった（？）お父さんの失態を見て、ショックだったようです。すかさず「お父さんは皆を楽しませる為にわざと転んだんだよ。おもしろかったでしょ。」と声を掛け、娘の表情は明るさを取り戻しました。

そこまではよかったのですが、それから娘が、友達の保護者を見つけては「お父さん、楽しくするために転んだんだよ。すごいでしょ！」と言いふらす始末。余計に照れくさい思いをしました。「嘘も方便」とは言いますが、娘のために素敵なお父さんを演じるのもなかなか大変でした。

（西本 和樹）

E-メールで

**新しい情報・大切な情報送っています。**

アドレスを事務局に登録してください。

また登録された方で、情報メールが届いてない方は連絡してください。

この連絡・参加申込書はFAXかEメールで送付してください。（郵便も可）

## 参加申込書

記入欄が不足する場合は、複写してご使用下さい。

事業名	参加者 氏名 (連絡先電話)		何れか ○囲み
平成 24 年度見学会	氏名	当日の緊急連絡先 Tel-	会員 非会員
			会員 非会員
			会員 非会員

## 連絡票

住所 連絡先 E-mail	※ 住所・連絡先等の変更は必ずお知らせ下さい。
事務局への 連絡事項	

\* 個人情報保護法に基づき、各会員の資料として管理致します。

(社) 兵庫県建築士会加古川支部事務局  
〒675-0017 加古川市野口町良野 418-17  
間嶋建築設計事務所内  
TEL 079-422-4130 FAX 079-423-4130

永井支部長連絡先  
090-5240-6230

eiz-nagai@nifty.com

QRコード→



# 支部だより

第54号

謹んで新年のあいさつを申し上げます。

会員みなさまにおかれましては、良き新年をお迎えのことと思います。さて、東日本大震災から今年の3月で2年が経過することになりますが、その後の復興については、まだまだ順調に進んでいるようには見えません。昨年末、政権が変わり景気もよくなるのではと期待をしたくなります。しかし、あの原発事故は忘れてはなりません。この機会に代替エネルギーの開発に、より一層の費用を投じてもらいたいと思います。また、建設界においても、明るい兆しが見えてくるのではと期待がかかります。ただ、それが表面だけの景気が良くなったようなものではなく、人の暮らしや環境が本当に良くなる政策を考えてもらいたいと思います。

この士会においては、今年4月より公益法人としてスタートします。いま、各支部をはじめ、本部事務局において、その準備が進められています。加古川支部においては、これからも、見学会、研修会等を企画していきます。青年部においては昨年に引き続き今年も地域とのふれあいを通じた活動をおこなっていきます。また、平成26年に創立50周年を迎えますので、その準備を平成25年度からはじめたいと思いますので、其々の事業ともにご協力の程よろしくお願ひします。それでは、本年もよろしくお願ひいたします。

(支部長 永井 英三)



## 「新年会&新春ボーリング大会」のお知らせ

厚生委員会

毎年恒例行事の支部新年会及び新春ボーリング大会を下記の通り開催いたします。

年明けのお忙しい中とは存じますが、今回特別に豪華賞品も用意しておりますので初投げを楽しんでいただいた後、盃を交わしながら情報交換に花をさかし、支部全員で新年の門出を祝いましょう。

日 時 : 平成 25 年 1 月 26 日 (土) 17:15 より 受付  
17:30 ゲーム開始  
19:00 開宴 (参加者集合次第)  
表彰 ボーリング大会優勝者 参加者全員に豪華賞品あり  
宴会余興 ビンゴゲーム これまた豪華景品多数

会 場 : 「ニッケパークボウル」 加古川市加古川町寺家町 269-1 tel (079) 427-8900  
新年会 「ながさわ 加古川店」(ニッケパークボウル東隣) tel (079) 456-7775

参加費 : 新春ボーリング大会 1,000 円 (2 ゲーム貸し靴代含む)  
(非会員は 1,200 円)  
新年会 3,000 円  
(非会員は実費)

スタッフ一同、皆様のお越しをお待ちしておりますので奮ってご参加くださいますようお願いいたします。  
当日連絡先 長尾 淳一 090-9216-2695

平成 25 年 1 月 21 日(月)までに

支部長へ直接もしくは、別紙参加申込書により申込みをお願いいたします。

永井支部長連絡先  
090-5240-6230

eiz-nagai@nifty.com

QR コード→







## LED 照明勉強会開催のご案内

研修委員会

東日本大震災以降、地震による原発の安全性が大きく揺らぎ、このたびの衆議院選挙では争点のひとつに取り上げられました。また、敷地内に活断層があるのではとのことで休止中の原発のいくつかは再稼動が絶望的との報道もあります。当面は火力発電所などのフル稼働により凌ぐとしても、燃料費増による電気料金の値上げ、CO2 排出量の増加など課題もあり、今後は、太陽光や風力など再生可能な自然エネルギーの活用がさらに進むのではないかと考えられます。このような中、エネルギーを造るのと同じくらい使用量の削減を図ることも私たちにとても大切なことです。

研修委員会では、最近、性能が向上し一般的になってきた LED 照明器具について、その特徴やこれからの住宅照明への活用などについて、事例を交えて実務レベルで分かりやすく学べる勉強会を企画しました。会員の皆様には、専門家の方から最新の情報を学び、また日頃の疑問等も解消できるこの機会をお見逃しなく、ぜひご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

1. 日 時 平成 25 年 2 月 13 日 (水) 19:00 から 21:00
2. 場 所 加古川市立尾上公民館 講義室
3. 内 容 (1) LED の基礎知識・今後の動向  
(2) LED 照明の活用方法 ほか
4. 講 師 大光電機(株) 中尾 晋也 氏 (NPO 法人日本 LED 照明推進協議会広報委員ほか)
5. 参加費 無 料
6. 講義のあと、質疑応答の時間をとり、知識の補足と設計等についての意見交換を予定しています。

※ 参加申込み 平成 25 年 2 月 5 日 (火) までに、  
支部長へ直接もしくは、別紙参加申込書により申込みをお願いいたします。



## 新入会員の挨拶

☆ はじめまして、石野 秀昭と申します。

私は昨年 11 月から建築士会(加古川支部)に入会させていただいております。早速参加させていただきました秋の岡山県吹屋地区への研修旅行では、たいへんお世話になりました。ところで私の入会に際しての思いは、まず私自身が勉強させていただきスキルアップを図る事。そして徐々に地域への貢献もできる事から行っていきたいという事です。大学卒業後、京セラの海外営業部に勤めさせていただいている最中発生した阪神淡路大震災がきっかけで京セラを退職し、建築の世界に入って参りました。市内の工務店で建築の勉強をさせていただき、12 年前に「暮らし工房」を立ち上げました。そもそも一級建築士として仕事をする事は小 6 の頃抱いておりました夢ですので、社会に必要な人材となるべく頑張ってお参りますので宜しくお願い致します。

☆ はじめまして、穂積 亮二と申します。(近畿菱重興産(株)高砂支社 一級建築士事務所)

今般、職場の関係で当支部に入会させていただき運びとなりました。三菱重工業(株)のグループ会社に勤務し主に工場建屋、事務所、寮社宅が対象の仕事になります。阪神淡路大震災を神戸市内で体験し、非常に恐怖を覚えたことは今も忘れられません。先般の 3.11 東北大地震、今後 30 年以内に発生確率の高い山崎断層帯地震等考慮すれば安全で安心であることが最優先であり、人命を如何に救えるか、我々建築技術者の使命は非常に大きなものだと思っております。常にお客様の立場に立ち使い勝手の良いものづくりはもちろんのこと、付加価値の高い、永く住み使い続けられる建築を目指し地道に真摯に取り組み、微力ながら社会に貢献して行ければと思っております。

☆ 7 月に入会させていただきました、太秦 篤史と申します。

東播工業高等学校を卒業後、姫路市の立建設(株)に就職し、現在見積もり部で積算などの仕事をしています。高校時代に学校行事やボランティアなどで建築士会の活動を知り、その後も二級建築士製図試験の際には講師をしていただき、また建築士会のボランティア活動に参加する機会もいただき、これからはいろいろと経験や思い出を作ってお参りしようと思っております。よろしくお願い致します。



## 平成 24 年度第 1 回見学会（吹屋地区ほか）の報告

11月18日（日）の見学会は、心配された前日の雨も上がり、晩秋に相応しい爽やかな晴天に恵まれました。今回、見学する吹屋地区は、日本三大銅山のひとつである小泉銅山とその副産物から作られるベンガラ製造で江戸時代中後期から明治にかけて栄えた町です。広島県境に近い岡山県の山間地にありますが、赤銅色の石州瓦とベンガラ色の外観で統一された見事な町並みが整然と続いているまちです。そしてなぜ吹屋地区が栄えたかという、上級品は陶磁器や漆器の顔料として、その他は建築などの防腐塗料として用いられていたベンガラの製造が日本ではここだけだったからだそうで、最上級のベンガラは金と同量で取引されたそうです。そのような予備知識も地元ボランティアガイドさんから聞きながら、まず吹屋のまち外れに建つ広兼邸を見学しました。

広兼邸は、あの映画「八墓村」のロケ地にもなった屋敷で、見上げるような立派な石垣と楼閣門を備えています。ガイドさんの説明によれば、広兼家は、自分の地所を見渡せる崖地の山腹を削り、その石材で石垣を築かせてこの敷地を造成、城郭のような邸宅を建てたそうです。また、明治時代、当主の子息が嫁をもらったことを地元にお披露目するために敷地内に別宅を新築したとのことです。どれほどの財力があったのか、映画そのもののような生活がここで営まれていたことにため息が出ました。

次に訪れた吹屋のまちは、鉱山で働く人々の生活物資を商う商人が店を出したことからまちが始まり、その後ベンガラで大きく発展したそうで、道の両側に立派な商家が軒を連ねています。ガイドさんによれば、吹屋の家屋は周囲の山で採れる良材を吟味し、出雲の宮大工により丁寧に造られているので、100年以上経っても狂いもなくしっかりしているとのことです。永く使われるようにと思いを込めたものは、それだけで人に何かを伝えるものだと改めて思いました。



最後に、吹屋地区のふもとにある西江邸は、天領地の大庄屋、代官代を任じられ、救民備蓄蔵とお白洲（今の裁判所）のある屋敷です。この邸宅も映画「釣りバカ日誌 18 ハマちゃん、スーちゃん瀬戸の約束」のロケ地になったことがあり、道路から玄関まで10分以上山道を登らないと着かない城郭のような屋敷です。この西江邸では、幸運にも、この屋敷に住んで管理をされている御当主夫妻とお話することができました。特に奥さんからは、文化財となるような住宅は、人が住んで生活の中で管理するもので、今の文化庁は展示物として扱うから早期発見ができず、結果として大規模な補修費が必要となっている。また、最近の住宅は3、4ヶ月で簡単に造ってしまう。もっとゆっくり大切に造るべきで建築に携わる人が悪いなど、住宅の管理や建築に対する熱い思いを聞くことができました。



今回の見学では、市に寄付されて管理されている広兼邸、地区の住民が思いを持って管理している吹屋の町並み、先祖が遺した文化財を当主が自ら住み管理している西江邸とそれぞれ管理の違うものを観ましたが、やはり、建築は、その目的のために使われていることが一番生氣を持っているように思います。西江邸から帰る途中、坂道の落ち葉を大変と言いながら気負いも無く淡々と掃除をされている御当主の姿には、この住宅への深い愛情を感じることができ、とても幸せな気持ちで帰れました。今回は時間の都合で、十分に吹屋のまちを見て回ることができませんでしたが、機会をつくってもう一度来てみたいと思う見学会でした。

（研修委員会 小西敏文）

## 青年部情報（青年部会）



### プレーパーク倉庫の完成

平成23年11月に上棟を行った寺田池プレーパーク倉庫。工程をプレーパーク開催に合わせたものとしたので、プレーパーク参加のチビッコ達、保護者の皆さん、地元町内会の皆様など大勢のご協力により完成しました。8月26日（日）寺田池フェスティバルで引渡し、式典を行いました。この倉庫建築には、大勢の人達が自分達の出来る事を楽しみながら作業してくれました。子供達は初めての事ばかりでワクワクしたことでしょう。又大人たちは子供時代にタイムスリップして夢中に作業したのではないのでしょうか・・・。

建築士会の皆様、初めまして。今回この作業に参加したきっかけは母からこのイベントのことを聞き、僕自身も建築作業をした事がなかったので凄く興味がわいたからです。毎回、作業前日は「明日はどんな事をするのだろう」とワクワクしたことを思い出します。作業で一番大変だったのは倉庫の壁に土を付けてゆく作業でした。壁下地の葦の隙間に土が入り込むので厚く塗らないといけないうし、しかもその鏝板に載せた土が重たかったからです。でも作業に慣れてくると「上手やな～」と云って貰えたのが嬉しくて余計に頑張りました。だけど職人さんにはかなわなくて、改めてプロの凄さに感心しました。特に漆喰塗りの作業では速さと仕上げの美しさに全く歯が立ちませんでした。プレーパークに来ている子供達が楽しそうに作業しているのを見て、僕も楽しく作業できました。このイベントに参加した子供達にもきっとよい思い出に成った事と思います。最近は生活環境の影響でインドア派が多くなってきているのを身近で感じます。インドアになるのは、身近に楽しめる環境が無かったりするからだと思っています。今回の様な活動は、子供達にとっても大人たちにとってもよい経験になり、また希薄になりつつある人とのつながりを増やす又とない機会だと思います。今回この活動に参加して本当によかったです。僕はこの活動が大好きでした。ありがとう御座いました。

私は、「参加してくれている人達がどんな事を思って作業してくれているのかな？」って気になっていました。そこで大勢の人達と共に、誰よりも熱心に我々と共に作業してくれた建元竜司君にこの度の倉庫建築作業の感想や思っていること等を書いていただきました。建元君は昨年4月からセミナー事業を開催させていただいている「のぞみ保育園」の園長先生の息子さんです。

(青年部会長 松本 有司)

## ええはなしやん

## 第36回

昨年、勤務先の兵庫県立東播工業高等学校のある神吉町内会より、本校建築科へ同町内への東屋の建設の依頼を受け、それが完成しました。これは日頃お世話になっている近隣の方々に恩返しをしたいとの思いもあり、本校建築科3年生が今までに培った学習の成果をいかし、また更なる学習を行うことで、生徒の力で東屋を建てようと、昨年4月の年度当初より取り組んでいたものでした。加古川支部の島崎さんを講師として招き、ご指導をいただきながら、生徒たちの力で設計も施工も行っていました。他にも青年部会の多くの方々の協力も得て、地域と学校と産業が一体となって協力して取り組みました。決して学校単独の力ではできません。多くの方々の協力があったことです。またそのような学習の場を提供して下さった地域の方々にも大変感謝しています。別件では加古川支部の斉藤氏より小学生対象の職業体験の一環として工作教室をしたいとのことで本校建築科オリジナルの木製筆箱の製作キットを依頼されました。生徒たちと準備したのですが、趣旨を話すとみんな快く取り組んでくれました。どうやら生徒たちは地域貢献やボランティアなど「人の為に」という取り組みに普段以上のモチベーションとやりがいを感じるようです。これは様々な自然災害などの経験を経て、あらためて感じる人と人との絆の大切さ、そのような意識が自然と生徒たちの中に徐々に根付いてきているのではないかと感じています。

年頭にあたり、昨年を振り返ると、仕事やプライベートに充実した日々を送れたのではないかと感じています。なかでも様々な人々との縁や繋がり、そしてそれを重んじることの素晴らしさを多く学ばせていただいた一年でした。

(西本 和樹)



## 東播工業高校の生徒との東屋づくり

今年度1年間、東播工業高校に非常勤の講師として行かせてもらっております。建築科の東屋をつくる班で西本先生と共に指導しております。東屋とはいえ設計から建築までを1年で体験学習するプログラムなので、学生には有意義な経験をしてもらっていると勝手に思っております。高校生で実際に建物を建ててしまうって経験はなかなかできない貴重な体験。僕の学生時代を振り返ってみてもそう思います。西本先生は教師ですので指導も



さすがです。僕はというと学生にどんなふうに話したらよいやらで、うまく指導できているかどうか。しかし、建築士会の皆さんという強い味方がありました。特に青年部の皆さんには大変お世話になりました。神吉の弁天池公園に実際に建てる際には、指導にも来ていただきました。ありがとうございました。基礎は土木科の学生達が松本青年部会長の指導の下に行い、木工事は学生、屋根は三宅建設の鵜鷹さんをお願いし、板金屋さんに来ていただきました。上棟の際には永井支部長も駆けつけてくださいました。このような連携がとれることが建築士会のとても良いところですね。学生達には、このプログラムを通してモノづくりの喜びや責任の重さ、それを支える技術の大切さを感じてもらえていたら、嬉しいです。

(島崎 淳二)



私は3年前から非常勤講師として母校の東播工業高校にお邪魔しております。後輩達は何を考え、何を思って作業したのだろうと興味津々でなりません。高校生が建築し、そしてその感想は建築科の生徒が書くと云う在り来りの流れにちょっと新鮮味に欠けると思っていました。私は彼等に意見を述べる場を与えたかったです。私の思いに呼応して、今回は土木科の生徒が感想を書いてくれました。ヤンチャ坊主・お調子者・美容師の卵・イケメン?・建設業に進路を決めた者・個性豊かな後輩の想いを聞いてやってください。

これまで土木科の先輩達は、現場実習を通じて地元への貢献活動を行って参りました。今回、地元神吉町内会の要望で建築科が東屋を建築すると先生からお聞きして、僕達も何か地域の役に立ちたいと思いました。僕達、課題研究班の6人が担当するのは東屋の基礎工事です。実施した内容は次の通りです。9月中旬より東屋基礎工事の準備計画をして、下旬から測量作業の開始。10月には土工事(掘削・耐圧盤下地・栗石地業)土工事終了後、墨だし・ベースコンクリート型枠立て込みまでを施工。11月には鉄筋組み立て(ワイヤーメッシュ)・ベース生コンクリート打設・型枠解体作業と清掃をしました。はじめに測量をしました。だけど僕達の土木の知識は蚤の様でした。学校で教わったことをするのですが現場ではなかなかうまくいかず、初めは苦戦だらけでした。けれども先生方や業者さんに指導・アドバイスを貰っているうちに、コツを覚え感覚を取り戻し作業効率が上がりました。そして躓きながらも作業をこなしていきました。そして耐圧盤ベースコンクリートを打設し終わり、コンクリートの養生期間、僕達はワクワクしていました。型枠を解体する時、汗水流してやってきた事を思い出しながら作業し、そして基礎は完成しました。今こうして作業を振り返ると、まだ夏の暑さが残る9月、東播工業高校の校訓『健やかに伸びよう汗出して』を元にながらんと決意したことを思い出されます。

今回この実習を終えて僕達が学んだことは、3Kという言葉は、『気持ちを含め・感謝・感激』だと思いました。そして蚤のようだった知識も人並みになったと思います。僕達に活躍の場を与えていただけたことに感謝いたします。(土木科 3年 廣本壮悟、田畑麻希、也 4名)

「蚤の知識」、初めて聞く言葉といえますか・・・なんともユニークな表現ですね。

私は常日頃「技術は人を幸せにする智慧である」と信じております。"3K" = "気持ちを含め・感謝・感激" 気持ちを含めて事を行い、結果、感謝と感激が起る。彼らは今回この実習で何かを掴んでくれたようです。彼等の胸のうちに芽生えた想い。解る人は「ニヤッ」とするのはないでしょうか。さすが！ 俺の後輩！ むっちゃうれしいで！ ありがとう！

(青年部会長 松本 有司)

この連絡・参加申込書は FAX か E-メールで送付してください。（郵便も可）

## 参加申込書

記入欄が不足する場合は、複写してご使用下さい。

事業名	参加者 氏名 (連絡先電話)		何れか <input type="radio"/> 囲み
新年会	氏名	当日の緊急連絡先 Tel-	会員    非会員
			会員    非会員
新春ボーリング大会	氏名	当日の緊急連絡先 Tel-	会員    非会員
			会員    非会員
LED 照明勉強会	氏名	当日の緊急連絡先 Tel-	会員    非会員
			会員    非会員

## 連絡票

住 所 連 絡 先 E - mail	※ 住所・連絡先等の変更は必ずお知らせ下さい。
事務局への 連絡事項	

\* 個人情報保護法に基づき、各会員の資料として管理致します。

(社) 兵庫県建築士会加古川支部事務局  
〒675-0017 加古川市野口町良野 418-17  
間嶋建築設計事務所内  
TEL 079-422-4130 FAX 079-423-4130

永井支部長連絡先  
090-5240-6230

eiz-nagai@nifty.com  
QR コード→

